

ホザキイチヨウラン

Microstylis monophyllus (L.) Lindl.

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県ではきわめて稀産の植物である。(現況:RO)

形態

地下に小さな偽球茎があり、通常1枚の葉を出す。葉は広卵形で長さ4~8cm、幅3~5cm。花茎は高さ10~30cm、淡緑色の多数の小花を密に着ける。苞は三角状披針形で尖鋭頭、長さ1~2mm。萼片は2.5mmで、披針形、開出して反曲する。唇弁は萼片と同長、上半部は急に細く突き出し、やや鋭頭。

国内分布

北海道、本州(中部以北)、四国、さらに樺太、朝鮮、台湾、中国(本土)、ヒマラヤ、シベリア、ヨーロッパ、北アメリカに分布。

県内分布

白山高地区。

生態など

地生の多年生草本。開花期は7~8月。

生育環境

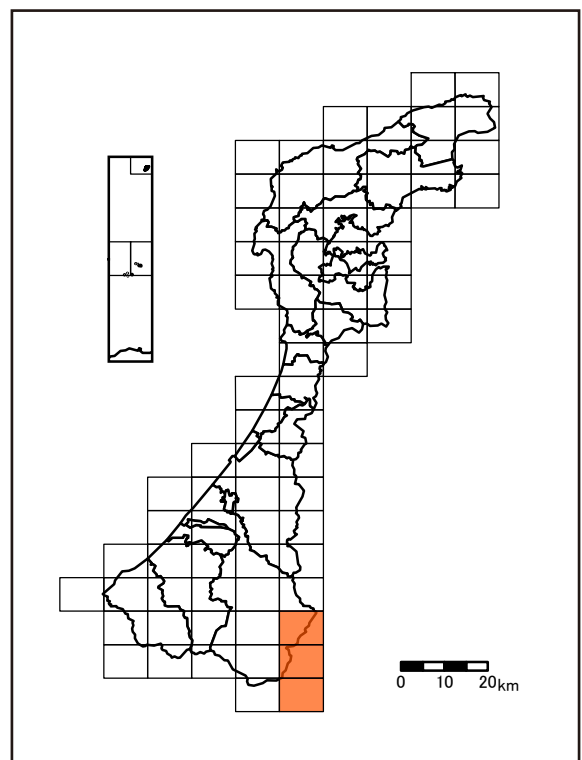
亜高山帯、ブナクラス域上部の針葉樹林の林床、林縁。

危険要因

園芸採取、踏みつけ。



小野ふみゑ・2008年7月30日・白山市



県内の分布